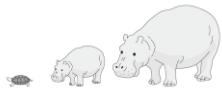


## シアタータイム

導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>保:「こんにちは」とペーパーサートを持って登場。「わたしはカバ」「ぼくはカバより小さいカバの子」「カバの子より小さいカメの子」と自己紹介。「動物園はいつもお客様がいっぱい…」と語りかけるように会話。「動物園で会いましょう」と去って行く。</li> <li>講:物語の世界に引きこむようにシアターをスタートさせる。</li> </ul>	教材 ★絵本 ★iPad(シアターセット) ペーパーサート (カバ大・小・カメ)	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>①場面ごとにリズミカルで簡潔なことばや、繰り返しのことばの楽しさを強調しながら読む。</li> <li>②物語を読み終えた後、絵本表紙から裏表紙へと続くカバくんの身体全体の絵を見せて、お話を締めくくる。</li> </ul>	保育士の役割 ・ペーパーサート提示 ・会話する	

## がくしゅうタイム

活動①	ねらい 比較	大中小それぞれの大きさに合ったキャベツ(シール)を貼ることができる		教材 P 1 P 1用キャベツシール 3種(大中小) 1人各1枚		
設問	動物の大きさに合う大きさのキャベツを選んで貼りましょう			保育士の役割		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>保:「トントントン」「こんにちはー」とプリント提示。</li> </ul>					
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>講:「こんにちはー」とプリントを受け取り個々の名称確認。「動物さん お腹空いたんだって」「何か良いものないかな?」</li> <li>保:「ありますよ」とキャベツシール提示。講師に渡す。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>プリント提示</li> <li>講師の誘いかけに子どもの側に立ち「やってみよう」と意欲的な声をかける。</li> <li>プリント配布</li> <li>理解できない子のフォロー</li> <li>称賛</li> </ul>		
	<p>数にチャレンジ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>講:「動物さん 何匹いるか数えてみよう。一本指ぴっ！1・2・3(指さし確認)…全部で3。キャベツの数は…」と動物の数とキャベツの数を子ども達と一緒に数える。 ※それぞれ「3個」で一致していることを確認する。</li> <li>講:「数は同じでも大きさが違うね」と大きさの比較の見本行動。「大きい・小さい…これは?」と問い合わせ前回同様「中くらい」の比較のことばを確認する。キャベツも同様に比較。動物の体の大きさに合わせて「ぴったんこ」とシールを貼っていく。</li> <li>保:「まだお腹空かせている動物さんがこんなにがいるよ」配布プリント提示。</li> <li>講:「キャベツ、みんなも食べさせてみる?」と意欲的に活動に参加させる。</li> <li>保:プリント配布。</li> <li>子:講師と一緒に数と大きさの確認。</li> <li>保:シール配布。</li> <li>子:「ください」「ありがとうございます」でシールを受け取る。大中小「比べっこ」比較行動を充分楽しんでから、ぴったりの大きさのキャベツを貼っていく。</li> <li>講:全員貼れたところで見せ合う。称賛。</li> <li>講:再びプリントに耳を近づけ「なに? お腹空かせたカバの友達がまだいるからよろしくだって」と次の活動に期待を持たせてプリントを回収し活動②へ進む。</li> </ul>					
活動②	ねらい 巧緻性	「スタート」「ストップ」の指示を聞いてりんご(シール)を貼ることができる。		教材 カバカード カード用シール 1人10枚		
設問	りんごをたくさんカバの口の中に入れてあげましょう			教材 カバカード カード用シール 1人10枚		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>保:「こんにちは。ぼくにも美味しいものください」とカード提示。「ガバー！！」と口を開いて見せ、興味を引く。</li> </ul>					
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>講:「これならあるけど」とりんごシール提示。「大きなお口開けて…(シールを取って) はいどうぞ」と口の中にシールを貼る見本行動。2~3枚貼ったところで「よく噛んで」とカードを開け閉めし「美味しい！」と食べる真似。</li> </ul>					

<ul style="list-style-type: none"> <li>保:「お腹空かせたカバさんが、こんなにたくさん…」と配布カード提示。</li> <li>講:「みんなも一緒にカバさんに食べさせてみる?」</li> <li>保:カバカード、シール配布。</li> <li>講:「スタートって言いたらお口開けて食べさせてあげてね」</li> <li>子:「スタート」「ストップ」の掛け声に合わせ口の中にシールを貼っていく。</li> <li>講:2~3枚貼れたところで「ストップ」「よく噛んで」の声掛け。</li> <li>子:「むしゃむしゃ」カードを開け閉めして食べる真似。</li> <li>講:「カバさん、まだ食べたいって」と繰り返す。</li> </ul> <p>※貼るスピードに差が出ます。早い子用に教室保管のエーワンシールを準備しても良い。「カバくんお腹いっぱい、ありがとうって言ってる」など最後までストーリー性を持たせて称賛。カードを回収し活動を終了する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育士の役割</li> <li>カード提示</li> <li>配布カード提示</li> <li>カード、シール配布</li> <li>「美味しいありがとう」「もっともっと」など子どもの意欲を高める声掛け。</li> <li>シールを剥がす時のフォロー</li> <li>称賛</li> </ul>
---	---

数チャレ	ねらい	数	大きさの違う「動物」と「シール」を数える	教材
設問			動物とキャベツの数を数えてみよう（3匹・3個）	
活動内容			※<活動①>の中で実施	保育士の役割

### ■出来たかな表

【活動内容】	【ポイント】
シアター	大きさを意識した表現（読み方）が出来たか
活動①比較	三者の比較で「中くらい」が子どもの口から出るように促すことが出来たか
活動②巧緻性	自力で頑張ることができるような雰囲気作りが出来たか
数チャレ	集中力が保てるよう、工夫をしたか
	活動①と同じ

### 楽習タイム♪

\*\*\* テーマ・スタート・ストップ \*\*\*

### 今月のえかきリズム

\*\*\* メロン \*\*\*

#### スタート・ストップごっこ

- ①「かけっこ」→「ゴール」の場所を決めて走る  
 ②「積み木つみ」→「ストップ」までにいくつ積めるかチャレンジする  
 ③「着替えっこ」→時計の針など目印に「ここに針が来たらストップだよ」と意識させる  
 ※ものごとには「始め」と「終わり」があります。特に子ども達は「終わり」への意識が薄れがち…「ごちそうさま」「ゴール」「おしまい」「ストップ」などの理解しやすい言葉を使い、日常生活の中で「始め」と「終わり」を楽しみながら繰り返し意識し理解させていきましょう



「終わり」を理解することは「けじめ=自己コントロール」にもつながります。達成感を感じさせながら繰り返しましょう。



えかきリズムの動画は  
こちら



楽習タイムの動画は  
こちら

